



無料

2013.8.28 WED

13:00~16:35

(受付開始12:00~)

場所

アルカディア市ヶ谷 私学会館
(最寄駅: JR市ヶ谷)

お問い合わせ先

埼玉大学総合研究機構 環境科学研究センター
〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255
TEL. 048-858-3117(内線3553)
E-mail: iest@gr.saitama-u.ac.jp

<http://iest.saitama-u.ac.jp/>

未来の子供達へ

地下温度環境の変化と地下水保全



プログラム

12:00~13:00 受付

13:00~13:05 開会挨拶及び概要説明

13:05~13:40 **招待講演1**



「地下熱・温泉熱利用と地中温度について」
信州大学 大学院工学系研究科(大学院総合工学系研究科)

教授 **藤縄 克之 氏**

近年、欧米や中国・韓国などのアジア諸国のみならず我が国においても地下熱を利用した空調・道路融雪などが飛躍的に進んでいる。ドイツなどでは太陽熱の地下蓄熱を組み合わせた空調システムが実用化されており、諏訪市では温泉熱利用空調システムを取り入れたグリーンシティ構想が検討され始めている。本講演では、これらの事例および信州大学工学部キャンパスで導入された地下水制御型次世代空調システムの実証試験結果などを中心に、地下の温度環境の変化について解説する。

13:40~14:05 「長期熱負荷試験による地温・地下水質の変化」

埼玉大学大学院 理工学研究科

教授 **小松 登志子 氏**

14:05~14:30 「地下温度変化が微生物叢に与える影響」

埼玉大学大学院 理工学研究科

教授 **大西 純一 氏**

14:30~15:00 休憩 ならびに ポスターセッション(コーヒーをご用意予定)

15:00~15:35

招待講演2



「地下温暖化が地下微生物に与える影響について」
産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門(地下微生物学)

主任研究員 **吉岡 秀佳 氏**

近年、掘削技術や遺伝子解析技術の進展により地下深くに微生物が生息していることが分かってきた。地下生命圏と呼ばれ、我々のグループも、メタンハイドレートの分布する海底堆積物や天然ガス田、関東平野の沖積層等を掘削調査して、地下微生物の特徴や活動について明らかにしてきた。地球温暖化が表層生物に与える影響については、多くの研究者が予想や評価を行っているが、地下の微生物に与える影響については、全く研究されておらず未知である。本講演では、地下微生物の特徴や活動について現状の理解を紹介するとともに地下微生物を検出する方法や活動の評価方法について解説し、地下温暖化が地下微生物に与える影響について推察する。

15:35~16:00

「地質要素の分布特性と地温変化に伴う地下環境影響評価に関する研究事例」

日本大学文理学部 地球システム科学科

准教授 **竹村 貴人 氏**

16:00~16:25

「地圏熱利用の数値解析」

東京農工業大学大学院 農学研究院

准教授 **斎藤 広隆 氏**

16:25~16:35

全体質疑応答

16:35~16:40

閉会の挨拶

16:40~17:00

懇親会会場へ移動、ポスターセッション

17:00~19:00

懇親会(同アルカディア市ヶ谷施設内を予定)

<http://iest.saitama-u.ac.jp/>